



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

教育委員会だより No.103

2020.2.21



愛村心（！尊心）を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

第2回 天栄村立小・中学校のあり方検討委員会

昨年11月に開催した「第1回天栄村立小・中学校のあり方検討委員会」を受け、1月20日（月）に第2回の検討委員会を開催しました。まず、村当局より第1回検討委員会の会議録を確認した後、昨年12月に保育所、幼稚園、小学校の保護者、小学校の教職員を対象として実施したアンケート調査の結果、教育委員会として今後求めていく教育ビジョンについて説明しました。それらを受け、各委員より様々な視点から意見や質問が出され、持続活発な意見交換がなされました。その中でも、「子どもたちのことを第一に考えていくこと」や「持続可能な小・中学校づくりを目指す」ことについて具体的な方針について協議され、2月20日（木）に開催される第3回の検討委員会で答申案を協議することになりました。

アンケートの結果は、天栄村教育委員会のホームページに掲載してありますのでご確認ください。

天栄村教育研究協議会「教育講演会」

2月7日（金）に、村内全ての幼稚園、小中学校の教職員並びにPTA会長様等の教育関係者が集い、天栄村教育研究協議会「教育講演会」を開催しました。

講演会では、麻布教育研究所の永島孝嗣様を講師としてお招きし、「学習指導要領と主体的・対話的で深い学びについて」と題してご講演いただきました。その講演の中で、新しい学習指導要領が求める子どもを具現するためには、「**日常的に全ての教員が取り組んでいることが重要である**」ことや授業研究会は「**授業者のスキルアップを目指すのではなく、参観者の見るスキルトレーニングを目的として行うべきである**」というお話をいただきました。授業は、授業者の「**瞬間的な見取りと判断**」が求められます。その力を高め、教師としての専門性を少しでも上げていく日々の授業づくりの大切さについてご示唆いただくことができました。



続いて、ベネッセコーポレーションの方より、学力調査結果から見える天栄村の子どもたちの学力の状況についてお話を伺い、前半の永島先生の講演内容と関係付けながら聞くことができました。

最後に、天栄村教職員研究物展に出品された教職員の中から、天栄中学校の取組についての実践発表がありました。天栄中学校は今年度、県より「道徳教育推進指定校」として指定を受けており、現在までの取組や研究の成果等について大変参考となる報告となりました。

天栄村の「地域と共にある学校づくり」を県内外に発信！

1月28日（火）、地域学校協働活動事業推進フォーラムがビッグパレットふくしまを会場に、県内外から約350名の学校関係者が参加して開催されました。地域学校協働活動事業とは、地域と学校が子どもを育むための同じ目標や理念をもち、地域が学校を支援するばかりではなく、子どもたちが地域への関わりをもつことで、生きる力を育むとともに、社会に開かれた教育課程を実現するために行っている事業です。

天栄村は、県より平成29年度から3年間、モデル地区の委託を受けており、過去3年間の取組を発表してきました。特に、中学生が作成したグルメマップ、天栄型コミュニティ・スクールの運営、英会話教室の実施などは、他のモデル地区にはない取組でしたので、参会者の方からも注目を浴びていました。

モデル地区としての委託は今年度で終了しますが、これまでの成果と課題を生かして、来年度以降も事業を継続していく予定です。





生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していただけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○2020新春初笑い「笑う天栄村」

2月2日(日)天栄村生涯学習センターで「2020新春初笑い 笑う天栄村」が開催されました。新年を笑いで迎えることと、2時2分に開演するなど、2をとことん並べて験を担いだめでたいイベントとなりました。

須賀川市(旧岩瀬村)出身の桂幸丸師匠の協力により、落語や曲芸、コント、大喜利などバラエティに富んだ内容で実施され、芸人さん達の巧みな話術や芸に大爆笑の1日となりました。



○親子で挑戦!クイズ、ゲームで遊ぼう

2月9日(日)に、天栄村ふるさと文化伝承館で「親子で挑戦!クイズ、ゲームで遊ぼう」が行われました。

当日は、親子で協力しながら、村の歴史クイズや館内に隠されたふたまたぎつねを探したり、仲睦まじい姿を見ることが出来ました。また、遊具をたくさん設置し楽しんでもらう事で、伝承館の良さを知ってもらい、村に伝わる民話の紙芝居の上演をするなど、伝承館を活かした内容でふるさと教育の推進を図りました。



○てんえいアクティビティクラブ

2月16日(日)湯本地区にて、てんえいアクティビティクラブが開催されました。今年度最後の回となった今回は、移住体験ツアーとの合同開催で、関東の大学生等と一緒にスノーシューや餅つき、地域行事の復活や旧羽鳥小でのイルミネーションのお手伝いなど1日かけて、湯本地区の良さを体験しました。

当日は、暖冬による雪不足や小雨の降る悪天候ではありましたが、子ども達は元気いっぱい活動していました。最終回の寂しさもありましたが、新年度また参加し、再開することを誓う子ども達もおり、ふるさと教育と合わせて情操教育の推進にも寄与することが出来ました。

